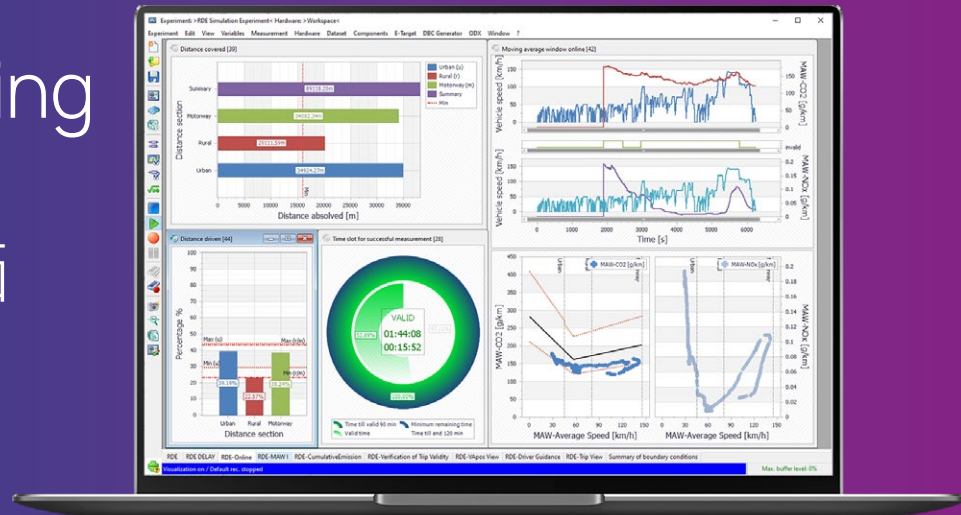


# RDE (Real Driving Emissions) 試験走行の評価 INCA-RDE



## ETAS INCA内でRDE計測データを 記録、計算、表示

INCA-RDE (Real Driving Emissions) は、テストドライバーが RDE 計測データの状態をリアルタイムに追跡できるようにするアシスタントソフトウェアです。

### 適用分野

- 標準の ETAS ツール チェーン内での車載 RDE 測定
- 法定制限の遵守の監視
- さまざまなメーカーの車載式排出ガス測定システム (PEMS) に適合
- さまざまな運転性と燃料タイプに対応

### 特徴

- PEMS 信号から RDE データをリアルタイムで計算
- 各国の法規制に対応
- RDE データと ECU 信号を同期収録
- 実路走行試験中に RDE 要件を維持できるかどうかを予測
- ユーザー定義のドライバーガイダンス情報とオプションの走行開始基準を適用する機能

### メリット

- 単一の測定ファイル内にすべての測定データの概要を表示
- RDE に関する法規制の専門知識は不要
- RDE 試験走行中に規定要件を監視
- 無効な RDE 試験走行を早い段階で検出することで時間を節約
- 測定信号のシームレスな処理
- PEMS ハードウェアへの接続が容易

## INCA-RDEのセットアップ例



## INCA-RDEの仕組み

INCA-RDE は、車載 RDE 計測用の INCA アドオンです。

ユニバーサルインターフェースモジュールを使用し、CAN を介して、車載式排出ガス測定システム (PEMS) と ECU に接続します。これにより、制御可能かつ再現可能な方法で RDE 走行試験を実施することができます。実路走行中の排出ガスは ECU からの信号と関連付けられ、効率的な追跡と解析を実現します。

RDE の設定は、INCA から直接行うことができます。排出ガスの測定値およびドライビングダイナミクス ( $v \cdot a_{pos}$  など) のデータは、INCA-RDE でリアルタイムで計算されます。既存の測定データに基づいて、INCA でシミュレーションすることも可能です。

解析結果は、INCA 実験環境内の RDE 専用ウィンドウに表示されます。ECU パラメータの適合と診断は、同じ INCA 実験環境で直接実行することも可能です。

**RDE 専用の INCA 実験ウィンドウを使用することで、以下のデータを表示することができます。**

- 市街地、郊外、高速道路を移動したルートと時間
- 移動平均排出量
- 環境およびエンジン状態
- 排出センサからの生信号
- 排出量測定の開始、GPS データおよび PEMS ステータス

データを視覚化するためのさまざまなオプションにより、概要を簡単に把握でき、試験走行中に記録された RDE 測定値を最適かつ効率的に評価できます。